

お客様各位

2022年4月7日  
北興化学工業株式会社

## 変更登録のお知らせ

平素より弊社製品をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。  
此の度、2022年4月6日付で下記農薬の適用が変更登録されましたので、お知らせ致します。

### 農薬名

第24238号 リディア箱粒剤（登録会社 株式会社MMAG）

### 適用変更の内容

- ・ 作物名「稲」を下表の適用内容で追加する。
- ・ 作物名「稲（箱育苗）」に適用病害虫名「イネカラバエ」、「イネヒメハモグリバエ」を追加する。
- ・ 作物名「稲（箱育苗）」に使用量「高密度には種する場合は 1kg/10a（育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約 5L）1箱当り 50～100g）」を追加する。

### 【変更後の適用内容】

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルリシを含む農薬の総使用回数
稲	イネトオイムシ イネズリウムシ ウカ類 ツマグロヨコバイ	1kg/10a	移植時	1回	側条施用	3回以内 (直播での種時 又は移植時までの処理 は1回以内、 本田では2回以内)
稲 (箱育苗)	イネトオイムシ イネズリウムシ ウカ類 ツマグロヨコバイ ニカメチュウ イコガ類 フタホトコヤガ イネカラバエ イネヒメハモグリバエ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g  高密度には種する場合は 1kg/10a (育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50～100g)	移植3日前 ～移植当日	1回	育苗箱の上から 均一に散布する。	3回以内 (移植時までの 処理は1回以内、 本田では2回以内)

### 【変更後の注意事項（変更・追加内容）】

- ・ 移植時に使用する場合は、次の注意事項を守ること。
  - ・ 専用の移植同時施薬機を用い、側条施用すること。
  - ・ 移植後は湛水状態（湛水深3～5 cm）を保ち、稲苗が活着するまで田面が露出しないよう水管理に注意すること。
  - ・ 移植後、低温が続き、苗の活着遅延が予測される場合には使用をさけること。

次ページに続く

前ページから続く

- ・育苗箱へ処理する場合は、次の注意事項を守ること。
  - ・ 薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理を行うこと。
  - ・ 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約 5L）1箱当りに乾剤として200から300g 程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整すること。
- ・ 容器・空袋はほ場などに放置せず、適切に処理すること。

変更登録後の製品情報の詳細はこちら [\(農薬製品・安全データシート \(SDS\) 一覧\)](#) からご参照下さい。

以上